

平成 27 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(平成 26 年度事業対象)



中学校の授業の様子

平成 27 年 11 月
石垣市教育委員会

石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、平成26年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



(教育委員による学校訪問における学校教職員との意見交換の様子)

目 次

はじめに	1
【参考】平成 26 年度 石垣市教育委員会主要施策体系	2
 I 教育委員会の活動	
教育委員会の会議等の状況	3
《資料》	
(1) 教育委員会の活動状況一覧表	4
(2) 教育委員会会議開催状況一覧表	5
 II 教育事務点検評価	
平成 27 年度教育事務（26 年度事業）点検評価の結果一覧表	9
大濱信泉記念館	10
社会教育行政費	11
学力向上対策事業	12
へき地教育対策事業	13
学校給食衛生管理事業	14
給食費改定	15
特別支援教育支援事業	16
外国語学習支援事業（沖振交）	17
子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業（沖振交）	18
社会教育学級事業	19
図書館充実事業 移動図書館	20
図書館充実事業 図書館協議会費	21
郷土文化学習事業（沖振交）	22
文化財保護啓発費	23
史跡フルスト原遺跡保存修理事業	24
市史編集事業	24
喜舎場永珣資料 史料調査事業	26
こども博物館教室	27
スクールバス管理費	28
学校（園舎）維持補修事業	29
教育・保育環境整備事業	30
明石小学校屋内運動場新增改築事業	31
 III 外部評価委員による総評	32
 ○石垣市教育事務点検評価実施要綱	34
○平成 27 年度 石垣市教育委員会組織機構図	36

はじめに

本市教育委員会では、

- ① 自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する
 - ② 平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する
 - ③ 学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る
- を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を実現する施策として、平成26年度は161事業を予算計上し、執行してきました。その中から新規事業は必ず評価の対象とすることとし、それらを含めて22事業を選定し、今年度の評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、「点検評価委員会」で内容等を点検しました。その後、学識経験者で構成される外部評価委員が各担当課職員にヒアリングを実施し、事業ごとに評価を付していただきました。その結果、外部評価委員から約81.8%の事業が計画通りに執行されているという評価を受けました。

しかし、総合的な意見では、「教育委員会の業務は広範囲にわたる上、学校、博物館、図書館、青少年センター、学校給食センター等教育機関が点在し距離的隔たりがあるため、緻密な連携・連動が必要不可欠である。学校教育と社会教育の融合、仕事内容や距離感を網羅した一体感のある体制づくりを構築するように」や、学校園舎維持補修事業について「子供たちの教育環境は、安全・安心が第一である。園児、児童生徒、教職員が安全で安心して取り組める教育環境を確保するため、予算確保を強力に行うように」等の提言をいただきました。

これらの意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、その結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

市民の皆様の教育行政へのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

○石垣市教育委員会委員名簿（平成27年4月1日現在）

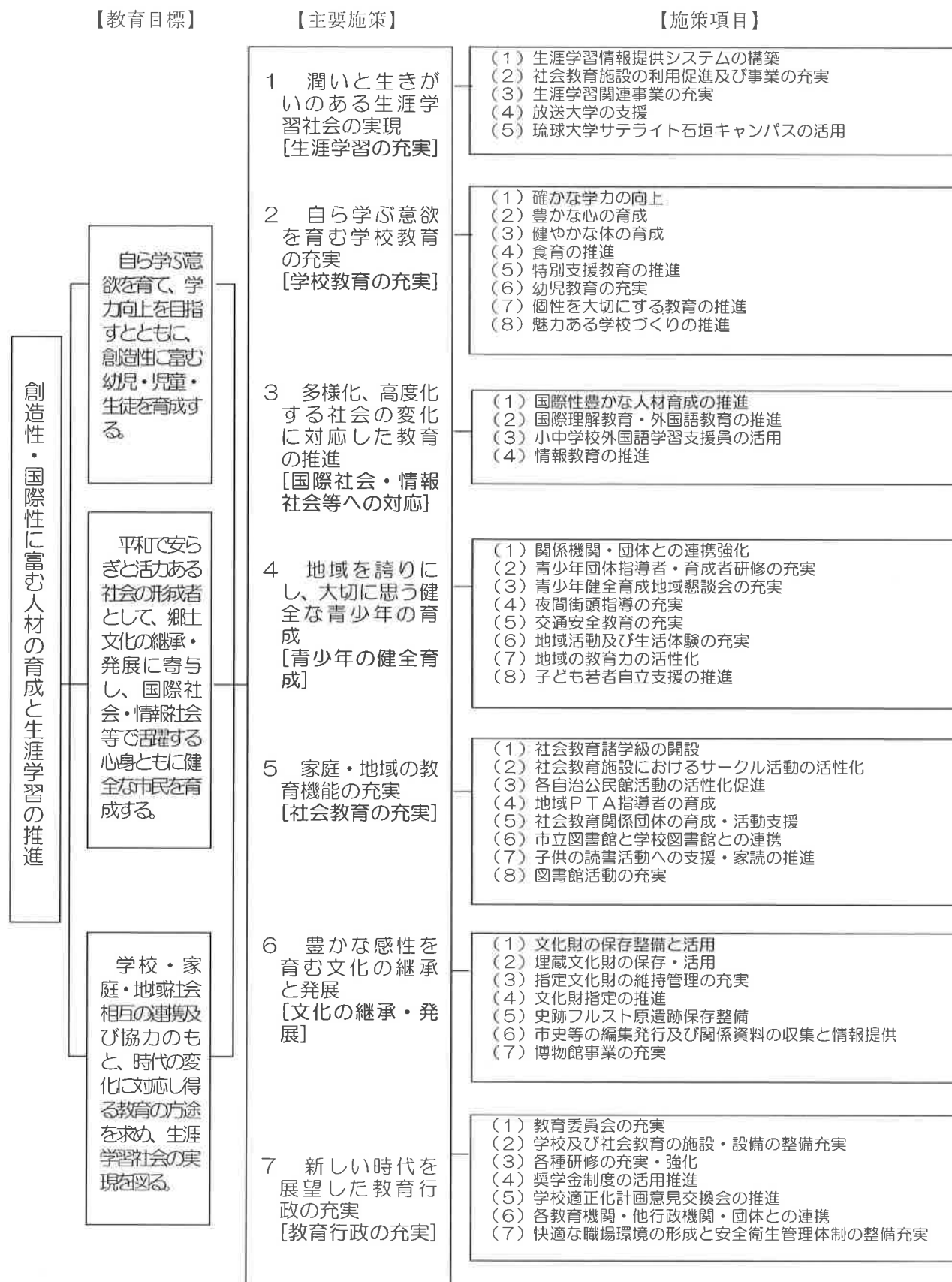
職 名	氏 名	委 員 任 期
委員長	仲 山 久 紀	平成25年4月1日～平成29年3月31日 (平成26年12月5日委員長就任)
委員長職務代理者	高 里 正 明	平成25年12月19日～平成29年12月18日 (平成26年12月5日委員長職務代理者就任)
委員	仲大盛 秀 彦	平成25年12月19日～平成29年12月18日
委員	新 田 健 夫	平成27年4月1日～平成31年3月31日
教育長	石 垣 朝 子	平成26年10月1日～平成30年9月30日 (平成26年12月5日教育長就任)

○学識経験者（教育事務点検評価外部評価委員）

金 城 綾 子	前石垣市婦人連合会会長 元石垣市立中学校校長
徳 山 長 壯	元石垣市保健福祉部長

【参考】

平成26年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系



I 教育委員会の活動

1 教育委員会の会議等の状況

本市教育委員会においては、毎月1回以上の教育委員会の会議の開催と自主研修会を実施し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

さらに、学校訪問や各種行事、視察等を積極的に行うなど、教育行政の推進に努めてきました。

教育委員会の会議については、原則として毎月第4金曜日に「教育委員会定例会」を、必要に応じて「臨時会」を開催しています。平成26年度は、定例会が12回、臨時会が4回の計16回開催しました。

また、平成21年度から、会議のほかに自主研修会を原則として毎月第2金曜日に行うこととし、委員自らの課題意識に基づいたテーマを設定して意見交換を行っています。学ぶ教育委員のもとにこそ学ぶ仲間が増えるという思いから積極的に学習の機会を増やし、今後も教育委員の資質の向上に努めていきたいと思いをします。

さらに、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等へ参加し、県内各地区の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研修を深めることができました。

2 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、合計96件の議案を審議しました。

3 その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・ 市立小中学校 入学式・卒業式
- ・ 市立小中学校訪問 授業・校内視察及び意見交換
- ・ 市立小中学校 運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・ 市立教育研究所 入所式・研究成果報告会
- ・ 学力向上推進実践報告会（市・八重山地区）
- ・ 教育講演会
- ・ 成人の日の集い
- ・ いしがき教育の日の集い
- ・ 石垣市生涯学習フェスティバル
- ・ 石垣市自治公民館研究大会
- ・ 適応指導教室実践報告会
- ・ 市主催各行事
（石垣島マラソン、石垣市制施行記念行事、石垣島まつり等）

■ 資料

(1) 平成26年度教育委員会の活動状況一覧表

区分	会 議		その他の活動
	教育委員会	そ の 他	
4月	■ 定例会	■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第1回理事会(那覇市)・・・委員長	■ 各小中学校入学式参列 ■ 管外転入教職員歓迎会 ■ 市立教育研究所(前期)入所式 ■ 自主研修会
5月	■ 定例会	■ 第59回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会(金武町) ■ 平成26年度八重山地区市町教育委員会協議会全体会及び研修会(沖縄本島北部) ■ 第28回九州都市教育長協議会定期総会・第66回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会鹿児島大会(鹿児島市)・・・教育長(事例発表)	■ 石垣市学力向上推進委員会総会 ■ 八重山地区学力向上推進委員会総会 ■ 自主研修会
6月	■ 定例会		■ 自主研修会
7月	■ 定例会	■ 沖縄県都市教育長協議会第1回会議(豊見城市)・・・教育長 ■ 平成26年度教育委員会施策に関する地区協議会(八重山教育事務所)・・・委員長	■ 市制施行67周年記念式典 ■ 青少年の深夜徘徊防止・未成年者飲酒防止県民一斉行動石垣市大会
8月	■ 臨時会 ■ 定例会	■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第2回理事会(那覇市)・・・委員長	■ 少年の主張八重山地区大会
9月	■ 定例会		■ 市立教育研究所成果報告会
10月	■ 臨時会 ■ 定例会	■ 沖縄県市町村教育委員研修会(那覇市) ■ 第6回全国離島等市町村教育長会(石垣市)・・・教育部長 ■ 沖縄県都市教育長協議会第2回会議(うるま市)・・・教育部長	■ 市立教育研究所(後期)入所式 ■ 学校訪問(かわはら幼・川原小) ■ 学校訪問(まきら幼、真喜良小)
11月	■ 定例会		■ 学校訪問(なぐら幼・名蔵小中) ■ 学校訪問(みやまえ幼、石垣小) ■ 自主研修会
12月	■ 臨時会 ■ 定例会		■ 学校訪問(のそこ幼、野底小) ■ 北上市との中学生交流体験学習助成事業(北上市)
1月	■ 定例会	■ 沖縄県都市教育長協議会第3回会議(石垣市)・・・教育長 ■ 沖縄県市町村教育委員会連合会第3回理事会(那覇市)・・・委員長	■ 石垣市成人式 ■ 学校訪問(伊原間中) ■ 学校訪問(石垣第二中) ■ 学力先進地視察報告
2月	■ 定例会	■ 平成26年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会(沖縄県庁)	■ いしがき教育の日の集い ■ 生涯学習フェスティバル ■ 市指定学力向上推進校実践報告会 ■ 適応指導教室実践報告会 ■ 八重山地区小中学校音楽発表会 ■ 石垣市と北上市の中学生交流体験学習報告会
3月	■ 臨時会 ■ 定例会		■ 市立教育研究所成果報告会 ■ 各小中学校卒業式参列 ■ 石垣市公民館研究大会

(2) 教育委員会会議開催状況一覧

教育委員会の会議は、月1回の定例会議と、臨時に開催する臨時会がある。平成26年度の会議開催状況、付議件数及び内容は次のとおりである。

(平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日)

区分	定例会	臨時会	合計
開催数	12回	4回	16回
付議件数	89件	7件	96件
主な内容	教育に関する基本的な方針に関すること。 規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。 教育委員会事務局、教育機関(幼稚園・小中学校含む)の人事に関すること。 教育予算に関すること。 附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。		

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第1回 定例会	4月25日	議案第1号	石垣市学校給食費助成金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第2号	平成26年度石垣市教育委員会主要施策体系の承認を求めることについて	承認 (一部修正)
		議案第3号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について)	承認
		議案第4号	臨時代理の承認を求めることについて(沖縄振興特別推進交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱について)	承認
		議案第5号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立学校職員の自家用車の公務使用に関する基準等の一部を改正する基準について)	承認
第2回 定例会	5月27日	議案第6号	石垣市小学生・中学生体験学習助成事業実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第7号	石垣市社会教育委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第8号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市青少年街頭指導員に関する要綱の制定について)	承認
		議案第9号	石垣市遠距離通学児童生徒に対する通学費補助規則の一部を改正する規則について	承認
		議案第10号	工事の計画を策定することについて	承認
		議案第11号	石垣市いじめ防止基本方針素案作成委員会設置要綱の制定について	修正可決
		議案第12号	石垣市幼稚園児預かり保育に関する補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第13号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市学校ICT支援員派遣事業実施要綱の制定について)	承認
		議案第14号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市学校ICT支援員の勤務条件等に関する要綱の制定について)	承認
		議案第15号	平成26年度石垣市一般会計補正予算(第2号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第16号	臨時代理の承認を求めることについて(嘆願書に対する回答について)	承認
		議案第17号	教科用図書八重山採択地区協議会への諮問について	承認
		議案第18号	石垣市立適応指導教室入級及び石垣市青少年センター通所等検討委員会設置要綱の制定について	原案可決

第3回 定例会	6月27日	議案第19号	石垣市立適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱について	修正可決
		議案第20号	石垣市青少年健全育成関係機関連絡会議運営要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第21号	石垣市青少年街頭指導員に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
第4回 定例会	7月30日	議案第22号	石垣市中心身障がい児適正就学指導委員会条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第23号	石垣市中心身障がい児適正就学指導委員会条例施行規則及び石垣市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	修正可決
		議案第24号	石垣市特別支援教育支援員派遣検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第25号	旧石垣市立学校給食センター備品等処分検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第26号	石垣市教育事務点検評価実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第27号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第28号	石垣市文化財審議会への諮問の承認を求めることについて	承認
		議案第29号	石垣市文化財審議会への諮問の承認を求めることについて	承認
		議案第30号	平成25年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
第5回 臨時会	8月19日	議案第31号	平成26年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第1号)の承認を求めることについて	承認
		議案第32号	平成27年度使用小学校教科用図書の採択について	承認 (一部修正)
第6回 定例会	8月22日	議案第33号	喜舎場永珣資料調査会設置要綱の制定について	修正可決
		議案第34号	石垣市立小中学校学習環境調査・設備整備計画検討委員会設置要綱の制定について	修正可決
第7回 定例会	9月26日	議案第35号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第36号	石垣市立学校評議員設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第37号	石垣市指定文化財の指定について(宮良浜川原のヤラブ(テリハボク)並木)	承認
		議案第38号	石垣市立八重山博物館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第39号	平成26年度石垣市一般会計補正予算(第5号)案提出の承認を求めることについて	承認
第8回 臨時会	10月1日	議案第40号	石垣市教育委員会委員長の選任について	選任せず
		議案第41号	石垣市教育委員会教育長の選任について	選任せず
第9回 定例会	10月26日	議案第42号	石垣市指定文化財の指定について(長田家の古墓)	承認
		議案第43号	臨時代理の承認を求めることについて(学校薬剤師の委嘱について)	承認
		議案第44号	平成26年度石垣市教育事務点検評価報告書(平成25年度事業対象)の承認を求めることについて	承認 (一部修正)
		議案第45号	石垣市立幼稚園入園料及び保育料に関する条例の一部を改正する条例についての議会提出の承認を求めることについて	承認

第10回 定例会	11月21日	議案第46号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第47号	臨時代理の承認を求めることについて(平成27年度石垣市立幼稚園園児募集要項)	承認
		議案第48号	平成27年度石垣市立幼稚園園児募集要項の改正について	承認 (一部修正)
		議案第49号	大濱信泉記念館指定管理者の指定に関する議案の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第50号	石垣市いじめ防止基本方針検討委員会設置要綱の制定について	修正可決
		議案第51号	平成27年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	承認 (一部修正)
		議案第52号	平成27年度石垣市教育委員会(幼稚園教諭)人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第53号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市と北上市の中学生交流体験学習助成事業実施要綱)	承認
		議案第54号	平成26年度石垣市一般会計補正予算(第7号)案提出の承認を求めることについて	承認
第11回 臨時会	12月5日	議案第55号	石垣市教育委員会委員長の選任について	仲山久紀 委員を選任
		議案第56号	石垣市教育委員会教育長の選任について	石垣朝子 委員を選任
		議案第57号	石垣市教育委員会委員長職務代理者の選任について	高里正明 委員を選任
第12回 定例会	12月19日	議案第58号	ICT教育用タブレット管理規則の制定について	原案可決
		議案第59号	石垣市就学援助規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第60号	工事請負契約に係る議案の議会提出の承認を求めることについて(明石小学校屋内運動場改築工事)	承認
		議案第61号	御神崎登録に係る管理団体になることへの承認を求めることについて	承認
		議案第62号	平成26年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第2号)の承認を求めることについて	承認
第13回 定例会	1月29日	議案第63号	大濱信泉記念館設置条例の一部を改正する条例についての議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第64号	石垣市立幼稚園入園料及び保育料に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例についての議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第65号	平成27年度石垣市学校医及び学校歯科医の委嘱の承認を求めることについて	承認
第14回 定例会	2月23日	議案第66号	石垣市立学校給食センター会計規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第67号	石垣市社会教育指導員設置に関する規則等の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第68号	石垣市立学校図書館図書事務嘱託員設置要綱等の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第69号	石垣市立八重山博物館嘱託員設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第70号	石垣市青少年センター教育相談員設置に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第71号	平成26年度石垣市一般会計補正予算(第8号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第72号	平成27年度石垣市一般会計予算(教育予算)案提出の承認を求めることについて	承認

		議案第73号	平成27年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認
		議案第74号	平成27年度教育委員会学校関係職員(幼稚園教諭等)定期人事異動の内示の承認を求めることについて	承認
		議案第75号	平成27年度県費教職員人事異動内申の承認を求めることについて	承認
第15回臨時会	3月25日	議案第76号	平成27年度教育委員会事務局・教育機関(学校を除く)定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
第16回定例会	3月27日	議案第77号	平成27年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	承認
		議案第78号	石垣市学校給食センター管理規則及び石垣市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第79号	石垣市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第80号	石垣市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第81号	石垣市教育委員会会議傍聴人規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第82号	石垣市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について	修正可決
		議案第83号	石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第84号	石垣市教育事務点検評価実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第85号	石垣市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第86号	大濱信泉記念館指定管理者事務取扱要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第87号	石垣市立幼稚園入園料及び保育料に関する条例施行規則の全部改正について	原案可決
		議案第88号	石垣市立幼稚園入園料及び保育料の減免に関する規則を廃止する規則について	原案可決
		議案第89号	石垣市少子化対策給付事業学校給食費助成金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第90号	石垣市学校給食費助成金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第91号	石垣市臨床心理士の勤務条件等に関する要綱の制定について	修正可決
		議案第92号	石垣市立小中学校外国語学習支援員(ALT)の勤務条件等に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第93号	石垣市学校教育支援員の勤務条件等に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第94号	平成27年度石垣市学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第95号	石垣市指定文化財の指定について(星圖)	承認
		議案第96号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立幼稚園預かり保育判定委員会に関する要綱の一部を改正する要綱)	承認

II 教育事務点検評価

平成27年度教育事務（平成26年度事業）点検評価の結果一覧表

主 要 施 策	事 業 名	担 当 課	内部 評価	外部 評価	ページ 番 号
1 生涯学習の充実	大濱信泉記念館	総務課	○	○	10
	社会教育行政費	いきいき学び課	○	○	11
2 学校教育の充実	学力向上対策事業	学校指導課	△	○	12
	へき地教育対策事業	学校指導課	○	○	13
	学校給食衛生管理事業	学務課	○	○	14
	給食費改定	学校給食センター	○	○	15
	特別支援教育支援事業	学校指導課	△	△	16
3 国際化・情報化等への対応	外国語学習支援事業（沖振交）	学校指導課	△	△	17
4 青少年の健全育成	子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業（沖振交）	いきいき学び課	○	○	18
5 社会教育の充実	社会教育学級事業	いきいき学び課	○	○	19
	図書館充実事業 移動図書館	図書館	△	○	20
	図書館充実事業 図書館協議会費	図書館	○	○	21
	郷土文化学習事業（沖振交）	図書館	○	○	22
6 文化の継承・発展	文化財保護啓発費	文化財課	○	○	23
	史跡フルスト原遺跡保存修理事業	文化財課	○	○	24
	市史編集事業	市史編集課	○	○	25
	喜舎場永珣資料 史料調査事業	博物館	△	○	26
	こども博物館教室	博物館	○	○	27
7 教育行政の充実	スクールバス管理費	総務課	○	○	28
	学校（園舎）維持補修事業	学務課	△	△	29
	教育・保育環境整備事業	学務課	△	△	30
	明石小学校屋内運動場新增改築事業	学務課	△	○	31

評 価 凡 例	内部 評価	外部 評価
○ 計画通り（達成度100%）	14事業	18事業
△ ほぼ計画通り（達成度70～100%未満）	8事業	4事業
× うまくいっていない（達成度70%未満）	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	総務課
事務事業名		大濱信泉記念館			
施策 体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現【生涯学習の充実】			
	施策項目	(2) 社会教育施設の利用促進及び事業の充実			
【事業概要】					
(1) 対象		市民等			
(2) 目的		指定管理者制度を利用し、大濱信泉記念館の管理・運営を委託する。経費削減(職員の人件費含め)及び市民サービスの質向上を目的とする。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		これまで職員が行ってきた記念館の管理業務を、指定管理者に委託する。指定管理者は、市からの委託料及び施設利用料を収入源とし、記念館の管理・運営費に充てる。大規模な修繕等は市の負担となっている。			
(4) 成果目標		施設利用者数 25,000人／年			
(5) 根拠法令等		大濱信泉記念館設置条例			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	4,675 千円	25年度実績	決算額 4,701 千円
指定管理者: ㈱南山舎 施設利用者数: 26,250人／年 利用料収入: 4,832,000円			指定管理者: ㈱南山舎 施設利用者数: 26,585人／年 利用料収入: 4,703,400円		
			27年度目標	予算額	4,491 千円
			指定管理者: ㈱南山舎 施設利用者数: 25,000人／年 利用料収入: 4,000,000円		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない					
区分	評 価 の 説 明				
内部評価	【成果・課題等】 各種講演会に加え、多様な学習講座の施設利用も定着してきており、教育施設としての役割を果たしている。指定管理者の自主事業として「やいま文化講座」を開催しており、利用件数を増やす努力は評価できる。 職員の業務量と維持管理経費も大幅に減少し、サービス向上も図られている。 ○ 今後は、施設及び設備の老朽化による修繕費等の増加が予想され、その予算確保が課題となっている。				
外部評価	郷土の偉人大濱信泉先生の記念館である。子どもたちには夢を、地域には誇りをもたせる施設である。平成18年度から指定管理者に委託し活用されているが、ただあと一步、大濱先生の足跡をアピールする場面がほしいところである。 ○				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	いきいき学び課	
事務事業名		社会教育行政費				
施策 体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現【生涯学習の充実】				
	施策項目	(3)生涯学習関連事業の充実				
【事業概要】						
(1)対象		市民				
(2)目的		市民の自主的な学習と活動を支援するために、「学・社・民の融合(学校教育と社会教育及び地域コミュニティの融合)」の体制づくりを図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)		・各事業運営に関する事務。 ・社会教育委員会において、地域における社会教育に関する諸問題に対して取り組む。				
(4)成果目標		各種生涯学習事業がスムーズに推進するため、情報提供及び研究調査を常に行うと共に、市民のニーズを諮る。				
(5)根拠法令等		・社会教育法 ・社会教育法施行令				
【事業実績・目標】						
26年度実績		決算額	1,835 千円	25年度実績	決算額	1,927 千円
社会教育委員会等を開催し、学校教育施設及び社会教育施設の視察を行った。 また、各公民館へ夏休み学習会の取り組み協力要請を行った。更に、家庭学習支援事業冠鷲プロジェクト地域懇談会においては、議長が事例発表を行うなど社会教育と学校教育及び地域との融合のため、助言を行った。		社会教育委員会を開催する中で各種社会教育学級及び家庭学習支援事業冠鷲プロジェクトの視察など、社会教育と学校教育の充実のため取り組みを行った。				
		27年度目標 予算額 2,042 千円				
		石垣市生涯学習社会の街づくりのため、社会教育に関する諸計画を立案し、各世代のニーズに対応した生涯学習の推進のため、人・地域・学校づくりの助言・指導を行う。				
評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない						
区分	評 価 の 説 明					
内部評価	【成果・課題等】 市民の自主的な学習を支援するため、社会教育委員が学校教育施設及び社会教育施設等の視察を行った。また、家庭学習支援事業の推進のため、社会教育委員が各公民館へ要請するなど、積極的な地域との関わりの中で、社会教育委員活動を活発に行った。 ○ 更に、社会教育委員が地域、学校へ助言・指導を行うとともに、教育委員との連携のもと、社会教育行政を促進する必要がある。					
外部評価	社会教育と学校教育の取り組みから融合へ、そして生涯学習につなげるものの見方に感服した。社会教育委員会会議の効率的な運用にも期待したい。更には、社会教育委員と市教育委員の話し合いが欲しいところである。一步すすめて欲しい。 ○					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成27年度(平成26年度事業)		主管課	学校指導課	
事務事業名	学力向上対策事業				
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実【学校教育の充実】			
	施策項目	(1)確かな学力の向上			
【事業概要】					
(1)対象	市立幼稚園及び小中学校に在籍する児童生徒				
(2)目的	本市の幼児児童生徒に基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、自ら学び、考え、行動する「生きる力」を育むため、特色ある教育課程を編成するとともに、教職員の協働体制の確立、校内研修の活性化等を推進し「学ぶ意義」や「学ぶ意欲」の向上を図るキャリア教育の視点を含めた取り組みにより「学び」を楽しみ、高める「わかる授業」を実践する。 また、「学習を支える力」の育成を図るため、「基本的な生活習慣」の確立を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○標準学力調査及びi-check(生活実態調査) ○学力向上推進研究指定校(小中学校:各1校)の指定と実践報告書・報告会 ○新任教員支援事業及び17種の教職員研修事業、学力先進地域視察事業 ○朝の活動(帯タイム)や放課後、長期休業中の補習活動				
(4)成果目標	沖縄県学力到達度調査において、全学年・全教科で、県平均正答率を上回る。				
(5)根拠法令等	石垣市学力向上推進委員会補助金交付要綱				
【事業実績・目標】					
26年度実績	決算額	6,396 千円	25年度実績	決算額	6,494 千円
○標準学力調査及びi-check(生活実態調査)の実施。 ○学力向上推進研究指定校(小中学校:各1校)の指定及び実践報告書の作成と報告会の実施。 ○新任教員支援事業(小学校10名、中学校6名)を1学期と2学期の2回実施した。 ○教職員研修事業として、校長研修会他16種の研修会を実施し、資質向上と情報の共有化、授業力向上を行った。 ○学力先進地域視察研修では、全国学力・学習状況調査(中学校の部)で1位である福井県を訪問し、学校運営、授業の様子、行政の取組を学び視察後は、学力向上推進実践会議を開催し市学力向上推進委員会等への提言を実施 ○朝の活動(帯タイム)では、小学校の基礎的・基本的な事項の定着を図るために、音読や基礎計算を実施。 ○学校教育支援員26名を派遣し、個別支援の充実を図った ○デジタル教科書(小中)の整備、タブレット(中)の整備 ○学校ICT支援員3名による事業支援			○標準学力調査及びi-check(生活実態調査) ○知能検査 ○学力向上推進研究指定校(小中学校:各1校)の報告 ○教職員研修事業として、17種の研修会 ○小学校では、朝の活動時間(帯タイム)の実施 ○学校教育支援員を18名派遣 ○デジタル教科書(小中)の整備、タブレット(小)の整備		
			27年度目標	予算額	6,288 千円
			○標準学力調査及びi-check(生活実態調査) ○学力向上推進校(小中学校:各1校)の実践報告会 ○教職員研修事業として、17種の研修会 ○小学校では、朝の活動時間(帯タイム)の実施 ○学校教育支援員26名を派遣、ICT支援員3名 ○デジタル教科書(小)の整備、タブレット(小)の整備 ○学力先進地域視察事業		
【点検評価】					
評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない					
区分	評 価 の 説 明				
内部評価	【成果・課題等】 ・標準学力調査及びi-check(生活実態調査)により、児童・生徒の実態を把握して、指導の充実を図ることができた。 ・学力向上推進研究指定校の実践報告並び各種研修会で、指導力の向上、情報の共有化、授業力の向上を図ることができた。 ・学校教育支援員の派遣により、個別支援の充実を図ることができた。学校の実態に応じた配置ができていないので、さらに強化する必要がある。				
外部評価	一人一人の子どもたちの学力を伸ばすために、石垣市教育委員会はいろいろな施策の展開をしている。継続していくもの、新しく取り入れたもので学力アップを図っている。特に先進校視察においては、「発表しなきゃ」ではなく、例えば、石垣市の学校は行事が多いといわれているので行事をとりだして比較検討し、精選するのも一案である。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	学校指導課	
事務事業名		へき地教育対策事業				
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実【学校教育の充実】				
	施策項目	(1)確かな学力の向上 (2)豊かな心の育成 (3)健やかな体の育成				
【事業概要】						
(1)対象		小規模小中学校の児童・生徒				
(2)目的		へき地学校においては、へき地の特性である「へき地性」「小規模性」「複式形態」を生かし、地域に根差した創意ある教育課程を編成・実施し、主体的で創造性豊かな児童生徒の育成に取り組み、その特性を生かした、合同・集合・交流学习を推進する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)		本市北部・西部の小学校及び中学校が年間を通して集合し、スポーツ(体育)や合唱、合奏(音楽)などの活動を行う。				
(4)成果目標		小規模校の児童生徒が集団で学習することにより、少人数では得られない社会性や協調性などを身につけ、お互いで切磋琢磨して健やかに成長する児童生徒を育成する。				
(5)根拠法令等		第4次石垣市総合計画第3章学校教育の充実第4節 15 へき地教育の充実				
【事業実績・目標】						
26年度実績		決算額	141 千円	25年度実績	決算額	163 千円
○北部地区においては2回、西部地区においては小学校1回、中学校3回の集合学習を実施することができた。 ○北部地区においては国語、体育、図工、特別活動を、西部地区においては小学校は体育、中学校は体育と理科を行うことができた。		○北部地区においては2回、西部地区においては小学校1回、中学校2回の集合学習を実施することができた。 ○北部地区においては体育、音楽、算数、外国語活動を、西部地区においては小中学校ともに体育を行うことができた。				
		27年度目標	予算額	180 千円		
		○北部地区においては2回、西部地区においては小学校1回、中学校2回の集合学習を実施する。				
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない						
区分		評価の説明				
内部評価		【成果・課題等】 ・北部地区や西部地区の集合学習の実践録や報告書から、集団での話し合いや協力して課題を解決することができたという成果が見られ、集合学習が協力性や積極性を培う良い機会となっている。 ・課題として、移動の際バスを利用しているが、バス賃借料が高騰しており、予算的には大変厳しい状況がある。				
外部評価		集合学習を通して、隣接校における児童生徒間の親密感を深めるとともに、へき地性を克服し社会性を育てる。北部地区と西部地区に分かれ実施しているがその成果は多大である。バス賃の値上げ等もあるのでぜひ後押ししてほしい。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	学務課
事務事業名		学校給食衛生管理事業			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実【学校教育の充実】			
	施策項目	(3) 健やかな体の育成			
【事業概要】					
(1) 対象		石垣市立小中学校の単独調理場(9校)			
(2) 目的		学校給食法第9条(学校給食衛生管理基準)に基づき給食従事者の腸内細菌検査及び施設衛生検査を実施する。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		腸内細菌検査業務、学校検便回収業務、給食調理場衛生検査委託業務、学校給食用食材検査委託業務を業者に委託し実施する。			
(4) 成果目標		調理員の腸内検査、施設衛生検査を実施し安全な学校給食を提供する。			
(5) 根拠法令等		学校給食法第9条(学校給食衛生管理基準)			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	1,630 千円	25年度実績	決算額
☐ 小学校費 794,268円 ①腸内細菌検査業務手数料 204,768円 ・検査対象者:学校給食従事者(調理員、栄養士)。 ・実施回数:検便検査による毎月2回。 ・検査項目(赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌血清型O-157) ②学校検便回収業務委託料 180,000円 ・検査対象者から提供があった検便を回収 ③給食調理場衛生検査委託業務委託料 409,500円 ・手指、調理器具、調理材料、仕上げ品等より一般細菌数、大腸菌群数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ、O-157の各項目を検査。 ☐ 中学校費 834,744円 ①腸内細菌検査業務手数料 309,744円 ②給食調理場衛生検査委託業務委託料 420,000円 ③学校給食用食材検査委託業務委託料 105,000円 ・食材検査(サルモネラ、腸管出血性大腸菌O-157)		☐ 小学校費 777,240円 ①腸内細菌検査業務手数料 187,740円 ②学校検便回収業務委託料 180,000円 ③給食調理場衛生検査委託業務委託料409,500円 ☐ 中学校費 827,400円 ①腸内細菌検査業務手数料 302,400円 ②給食調理場衛生検査委託業務委託料420,000円 ③学校給食用食材検査委託業務委託料105,000円			
		27年度目標	予算額	1,750 千円	
		☐ 小学校費 867,000円 ①腸内細菌検査業務手数料 265,000円 ②学校検便回収業務委託料 180,000円 ③給食調理場衛生検査委託業務委託料422,000円 ☐ 中学校費 883,000円 ①腸内細菌検査業務手数料 343,000円 ②給食調理場衛生検査委託業務委託料432,000円 ③学校給食用食材検査委託業務委託料108,000円			
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分	評価の説明				
内部評価	【成果・課題等】 学校給食法第9条に基づき計画的に実施している。				
	○				
外部評価	食事の重要性を認識させ健康の増進を図るために学校給食は行われている。学校給食法に基づき調理員の健康や食材検査や施設衛生検査等計画的に実施し管理されている。				
	○				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	学校給食センター	
事務事業名		給食費改定				
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実【学校教育の充実】				
	施策項目	(4) 食育の推進				
【事業概要】						
(1) 対象		給食提供校の児童生徒				
(2) 目的		本市の給食費は平成2年の改定以来24年間値上げをしていない。そのため提供する給食の安全・安心の面や地産地消の観点から、地元・国産品を中心とした食材を使用していて、消費税の増税や食材費の高騰に対して、食材の調達や献立等の工夫を行ってきたが、それらも限界となっているので、給食費を改定する。				
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		値上げについて、保護者及び学校の理解を頂くために、学校給食センター運営委員会定例会及び臨時会を含めて5回、受配校のPTA会長との話会を2回開催した。また、全保護者に値上げについてのお知らせを2回発行し、理解をお願いした。				
(4) 成果目標		平成27年度から給食費の値上げが実施できたか。				
(5) 根拠法令等		・石垣市立学校給食センター会計規則 ・石垣市立学校給食センター運営委員会規則				
【事業実績・目標】						
26年度実績		決算額	0 千円	25年度実績	決算額	0 千円
○小学校 1食単価 205円 → 235円(30円の増)						
○中学校 1食単価 225円 → 265円(40円の増)						
		27年度目標	予算額	0 千円		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない						
区分	評価の説明					
内部評価	【成果・課題等】 保護者皆様からご理解を頂き、大きな反対もなく平成27年度から実施できた。ただ、未納者に対する対策の強化を望む意見があり、今後取り組みを行う予定である。					
○						
外部評価	本市の24年間値上げしていない給食費を、社会情勢と今時の課題とからまわせて取り組んだことを高く評価したい。地産地消や食べ残しや未納者対策等の着実に取り組まれている。汁そばや焼く、蒸す等の新メニュー開発にも力を注いでいる。					
○						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	学校指導課
事務事業名		特別支援教育支援事業			
施策 体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実【学校教育の充実】			
	施策項目	(5)特別支援教育の推進			
【事業概要】					
(1)対象		園・学校生活を過ごす上で、安全面や生活面、学習面で支援を必要とする幼児児童生徒			
(2)目的		市立幼稚園、小学校、中学校に通う介助及び学習支援を必要とする幼児児童生徒の身の安全・安心を保障するとともに、他の幼児児童生徒の身の安全・安心や及ぼす影響を軽減し、どの子にとっても「安全・安心」な園・学校づくりを図る。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		市立幼稚園・小学校・中学校に在学する障がいを持った幼児児童生徒に対し、個に応じた教育の充実を図るために特別支援教育支援員を派遣する。			
(4)成果目標		園・学校生活における安全面や生活面、学習面の補助を行うことにより、当該園児・児童生徒の集団適応と自立を促す。			
(5)根拠法令等		石垣市特別支援教育支援員派遣事業実施要項 石垣市特別支援教育支援員派遣検討委員会設置要綱			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	13,854 千円	25年度実績	決算額 12,025 千円
園長又は学校長の申請に対し、障がいを持った幼児児童生徒の安全面や生活面での補助のため、平成26年度は16名の特別支援教育支援員を派遣した。		園長又は学校長の申請に対し、障がいを持った幼児児童生徒の安全面や生活面での補助のため、平成25年度は14名の特別支援教育支援員を派遣した。			
□学校・園から申請児童生徒数・・・45名		□学校・園からの申請児童生徒数・・・33名			
□対応した幼児児童生徒数・・・21名		□対応した幼児児童生徒数・・・20名			
□派遣した支援員数・・・16名		□派遣した支援員数・・・14名			
		27年度目標	予算額	14,492 千円	
		園長又は学校長の申請に対し、障がいを持った幼児児童生徒の安全面や生活面での補助のため、平成27年度は19名の特別支援教育支援員の派遣を予定している。			
		□学校・園からの申請児童生徒数・・・37名			
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 発達障害を含む支援対象児童生徒数が増加傾向(文科省調査では通常学級在籍児童生徒の6.5%)にあり、園や学校では適切な支援・指導に苦慮している。「障害のある子どもと障害のない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶことを目指す」インクルーシブ教育が推進される中、就学支援においても、小中学校普通学級への就学を希望する保護者が増えている。教育委員会としては適切な就学を支援する一方、特別支援教育支援員派遣事業を継続していく。			
△					
外部評価		特別支援教育とは、障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握して適切な教育や指導を通じて、必要な支援を行うものである。個に応じた教育の充実を図るために特別支援教育支援員を派遣する事業であるが、支援対象が増加傾向にあり、学校でも苦慮し教育に当たり、保護者の意見等も多種多様にわたり、解決したい課題も多いので、後押しを強くお願いしたい。			
△					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成27年度(平成26年度事業)	主管課	学校指導課		
事務事業名	外国語学習支援事業				
施策体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進【国際社会・情報社会等への対応】			
	施策項目	(3)小中学校外国語学習支援員の活用			
【事業概要】					
(1)対象	市立小中学校に在学する児童生徒				
(2)目的	国際化の急速な進展に伴い、広い視野を持ち、異なる文化を持った人々と共に協調して生きていく資質や能力を育成するため、学校の教育活動全体を通じて国際理解教育の推進及び外国語活動を踏まえた英語教育の充実を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○外国語学習支援員の派遣:小学校3名、中学校1名 ○地区英語サマーキャンプの支援 ○英語スピーチコンテスト等の支援(石垣市長杯、高円宮杯、ストーリーテリングコンテスト) ○英語及び外国語活動の授業の補助				
(4)成果目標	○外国語支援員の配置人数 ○標準学力調査及び県学力到達度調査での平均正答率				
(5)根拠法令等	石垣市立小中学校外国語学習支援員(ALT)の勤務条件等に関する規則				
【事業実績・目標】					
26年度実績	決算額	9,037 千円	25年度実績	決算額	8,462 千円
○ALTの体制を小学校3人、中学校1人 ○中学校では、英語の授業の中でALTと英語教諭によるティームティーチングを行い、英語を使ったコミュニケーション活動を行うことができた。また、各種スピーチコンテストに向けて、市内中学校から要請のあったスピーチ原稿の手直し等を行うことができた。 ○小学校では、ALT3人を市内20校に派遣し、主に5、6年生を対象に外国語活動の授業の中で補助業務を行うことができた。			○ALTの体制を小学校3人、中学校1人 ○小学校のALTを担当制にし、市内小学校20校を3つのブロックに分け、計画的にALTを派遣し、外国語活動の授業等で補助業務を行うことができた。		
			27年度目標	予算額	10,746 千円
			○ALTの体制を小学校3人、中学校1人 ○ALTを市内小中学校からのALT訪問要請に基づき計画的にALTを派遣し、外国語活動の授業やその他国際理解教育活動の活性化に寄与する。		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分	評価の説明				
内部評価	【成果・課題等】 ・ALTを小学校に3人、中学校に1人小中学校に派遣し、計画的に学校訪問することができた。 ・中学校では英語の授業の中でコミュニケーション活動の補助業務を行ったり、スピーチコンテスト等に向けて原稿の手直しやスピーチの練習においては助言等を行うことができた。 ・小学校では、主に外国語学習の時間に担任と協力しながら、補助業務を行うことができた。 △ ・標準学力調査の結果から平成25年度より7.3ポイント上昇したものの、県学力到達度調査においては46.8%と前年度より1ポイントマイナスとなっている。 ・総合的には、ほぼ計画通りに実施されていると評価した。				
外部評価	国際理解教育の推進として外国語教育(英語教育)は今や必須の知識といっても過言ではないと言えよう。ALTの増で学力アップにつなげてほしい。スピーチコンテストは3つあるが、3つの大会にはそれぞれのねらいがあり、ねらいを明確にして開催時期も考慮しながら効率的に運営してほしい。 △				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成27年度(平成26年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業				
施策体系	主要施策	4 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成【青少年の健全育成】			
	施策項目	(8) 子ども若者自立支援の推進			
【事業概要】					
(1) 対象	石垣市に居住する0～39歳までの者で、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者				
(2) 目的	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者に対し、地域の関係機関・個人がネットワークを形成・連携し、第一次的な窓口として総合相談センターにおいて相談対応を行う。また、対象者の把握のために実態調査を行う。				
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	☐ 子ども・若者支援地域協議会の設置 ☐ 子ども若者総合相談窓口の開設・周知 ☐ 代表者委員・実務者委員の委嘱及び会議の実施(代表者委員年2回・実務者委員年4回) ☐ ひきこもり実態把握のため、アンケート調査の実施				
(4) 成果目標	石垣市教育委員会いきいき学び課青少年センター内に子ども若者相談員1名を配置し相談業務を実施する。また、併せて石垣市子ども・若者支援地域協議会を設置し、関係機関・団体等とのネットワークを形成し連携を図る。その他、石垣市におけるひきこもり実態調査を実施し、対象者の把握に努める。				
(5) 根拠法令等	☐ 子ども・若者育成支援推進法 ☐ 石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱 ☐ 石垣市子ども若者相談員設置に関する規則				
【事業実績・目標】					
26年度実績	決算額	2,114 千円	25年度実績	決算額	0 千円
☐ 子ども若者相談員の配置 石垣市教育委員会いきいき学び課青少年センター内に平成26年8月より、子ども若者相談員1名を配置した。 平成26年度の受理相談件数については、相談者8名に対し延べ75回の相談(電話・来所等)に応じた。					
☐ 石垣市子ども・若者支援地域協議会の設置 平成26年3月に、石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱を制定し、委嘱状交付式を含め、代表者委員会を年2回、実務者委員会を年4回開催した。協議会は21の関係機関・団体で構成し、代表者委員21名・実務者委員21名の計42名に対し委嘱状(任命書)を交付した。			27年度目標 予算額 3,808 千円		
☐ 石垣市におけるひきこもり実態調査 平成27年2月に「ひきこもり等の実態把握に関するアンケート調査」を実施した。			☐ 子ども若者相談員の配置:1人 ☐ スーパーバイザー配置:1人 ☐ 代表者委員会:年2回 ☐ 実務者委員会:年4回 ☐ 個別相談会:年4回 ☐ スーパーバイズ:年12回 ☐ 広報啓発:随時		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない					
区分	評 価 の 説 明				
内部評価	【成果・課題等】 ・平成26年度に実施した、ひきこもり等の実態調査に基づき、民生委員や障害者就業生活支援センターどりいむ・就業継続支援事業所まーる等、地域の社会資源を活用し対象者の掘り起し等のほか、必要な対策を検討し具体的な支援につなげた。				
	○				
外部評価	一人一人は何者にも代え難い存在であるのに、抱えている問題で前進する力が内に潜んでいて一歩踏み込めない子どもや若者が増えている。新規事業に際し、まず、アンケートから、そして関係機関との連携等地道に計画的にすすめている。				
	○				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	いきいき学び課
事務事業名		社会教育学級事業			
施策 体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実【社会教育の充実】			
	施策項目	(1)社会教育諸学級の開設			
【事業概要】					
(1)対象		市民			
(2)目的		青年、成人、婦人、高齢者の社会参加促進のための学級を開設し、市民の自発的学習意欲の向上を図る。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		青年学級、成人学級、婦人学級、高齢者学級の開設を希望する団体を募集し、学級を開設する。閉級式までの過程を実績報告書で提出してもらい、例年、生涯学習フェスティバルで、成果を掲示発表している。			
(4)成果目標		青年学級、成人学級、婦人学級、高齢者学級の閉級後の自発的な組織の立ち上げと、生涯学習の充実・促進。			
(5)根拠法令等		・社会教育学級費実施委託要綱 ・社会教育法			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	340 千円	25年度実績	決算額 340 千円
○青年学級委託料 85千円 「ドリーム学級(20名)」			○青年学級委託料 85千円		
○成人学級委託料 85千円 「かなさあ石垣学級(29名)」			○成人学級委託料 85千円		
○婦人学級委託料 85千円 「大川ひまわり学級(34名)」			○婦人学級委託料 85千円		
○高齢者学級委託料 85千円 「宮良老人クラブ 寿学級(32名)」			○高齢者学級委託料 85千円		
27年度目標		予算額	340 千円		
			○青年学級委託料 85千円		
			○成人学級委託料 85千円		
			○婦人学級委託料 85千円		
			○高齢者学級委託料 85千円		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない					
区分	評価の説明				
内部評価	【成果・課題等】 青年学級、成人学級、婦人学級、高齢者学級を開設することによって、地区・地域で行われる各種社会教育活動等を支援・推進することができた。 現在、青年、成人、婦人、高齢者と4つの学級を開設しているが、市民の生涯学習の機会を拡充するため、PTA 家庭教育学級や子ども会(支部PTA)育成学級等を開設できないかどうか市民のニーズに沿った事業の検討をする必要がある。				
外部評価	生涯にわたって学び続ける意欲を持つ人間は豊かな人生を謳歌し、且つ社会生活にも潤いを与える。青年、成人、婦人、高齢者学習の社会的影響は大きい。ニーズに沿った事業の視点を持って更なる活動を期待したい。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	図書館
事務事業名		図書館充実事業 移動図書館			
施策 体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実【社会教育の充実】			
	施策項目	(8) 図書館活動の充実			
【事業概要】					
(1) 対象		北西部地区の住民			
(2) 目的		市立図書館より遠隔地のため、日頃市立図書館を利用できない北西部地区の市民へ1冊でも多く本を届けることによって本に親しむ機会を増やすことを目的とする。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		図書館車両に各種本を積み、川平公民館及び伊原間公民館内で貸出業務を行う。			
(4) 成果目標		年間利用者数100人 貸出冊数1,000冊			
(5) 根拠法令等		石垣市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第16条			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	494 千円	25年度実績	決算額 494 千円
利用者数 54人 貸出冊数 370冊			利用者数 52人 貸出冊数 318冊		
			27年度目標 予算額 494 千円		
			利用者目標 100人 貸出冊数 1,000冊		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 平日の午後2時~4時まで公民館を利用して実施しているため、学生や仕事をしている方には利用しにくい。 移動図書館車両を導入すると、図書配置かたづけの作業軽減になり、時間的にも余裕ができ、更に巡回できる場所も増やすことが出来て多くの人が利用しやすくなると考える。			
外部評価		遠隔地の人々に一冊でも多く良書と出合わせ、本に親しむ機会を設けることは一人の人間にとって大きな意義がある。ましてや高齢者や一人暮らしの方や子どもたちの利用が多いとあればなおさらである。職員の熱意も感じられるので、いち早くキャラバンカー等を購入され魅力ある図書館づくりに取り組まれない。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	図書館
事務事業名		図書館充実事業 図書館協議会費			
施策 体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実【社会教育の充実】			
	施策項目	(8) 図書館活動の充実			
【事業概要】					
(1)対象		図書館協議会委員			
(2)目的		協議会委員から意見要望を聞くことにより、市民の声を図書館運営に反映させる。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		有識者、一般市民から7名の協議会委員を選出し、図書館協議会を開く。協議会の場で、図書館全般に対しての意見、要望をいただく。			
(4)成果目標		市民の要望を取り入れることにより、市民へのより良い図書館サービスの実施。			
(5)根拠法令等		・図書館法第十四条～第十六条 ・石垣市図書館協議会設置条例			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	28 千円	25年度実績	決算額 0 千円
図書館協議会開催 6月、12月 委員報酬 3,500円×4人×2回=28,000円				実施なし	
				27年度目標 予算額 25千円 委員報酬 3,500円×7名×1回=24,500円	
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 毎回、各委員から活発な意見が出され、図書館員の気がつかない点を指摘していただいたり、また後押しをするご意見をいただき有意義な内容の協議会となっている。			
外部評価		「市民と歩む・暮らしに身近な図書館をめざして」と市立図書館の姿勢は良好である。そのためにも多くの人々の意見が聞ける図書館協議会の開催は妥当である。 また、各学校と図書館との円滑な情報ネットワークの確立も検討していただきたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	図書館
事務事業名		郷土文化学習事業(沖振交)			
施策 体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実【社会教育の充実】			
	施策項目	(8) 図書館活動の充実			
【事業概要】					
(1) 対象		児童生徒			
(2) 目的		児童生徒が地域の歴史文化に興味・関心を持ち、地域に根ざした教育を育むため、郷土学習資料として活用してもらう。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		郷土学習資料として「やえやま探検隊シリーズ」を編集し、八重山圏内各学校の集合学習に活用するため、発行・配布する。			
(4) 成果目標		「やえやま探検隊」を1,000部発行し、八重山圏内の学校へ配布する。			
(5) 根拠法令等					
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	2,916 千円	25年度実績	決算額 千円
☐ 編集・刊行 ・これまで発行された「やえやま探検隊シリーズ」を編集合本し、1,000部刊行。 ☐ 配布 ・八重山圏内の小中学校を中心に計828部配布。 八重山圏内各学校__729部 協力団体及び関係者__26部 沖縄県内公共図書館及び教育機関__73部 ☐ 保管 ・資料破損用として172部を図書館に保管。					
				27年度目標	予算額 千円
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 ・「やえやま探検隊」については平成26年3月27日までに編集・刊行を完了し、本市の他、竹富町・与那国町も含む八重山地域の小中学校を中心に、関係機関へ828部を無料配布し、教育現場等において活用されている。残り172部を資料破損等の対応用として保管した。 ・地域の歴史や伝統・文化を学ぶ郷土学習のために、児童生徒向けの地域資料が必要であり、今後とも郷土学習資料の充実を図っていく。			
外部評価		郷土学習資料として「やえやま探検隊シリーズ」の編集の意義は極めて大きい。探検隊シリーズでは八重山の主な行事を扱っているがそれを媒体として、主体的・創造的な探究活動や体験的学習等を培うことができる。各学校においても評判も良く活用されているので、探検隊シリーズとして今後とも継続してほしい。財政面の後押しを強く要望したい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	文化財課	
事務事業名		文化財保護啓発費				
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展【文化の継承・発展】				
	施策項目	(1)文化財の保存整備と活用				
【事業概要】						
(1)対象		市民				
(2)目的		地域の自然や歴史、文化を学習するとともに、文化財の保護啓発及び活用を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)		・市民を対象に、自然観察会、戦跡めぐり、文化財めぐり等の啓発事業を実施する。 ・あらたな文化財の指定・登録に向け、測量や境界画定、図化、撮影などを行う。 ・開発等で指定文化財に影響が及ばないよう、定期的にパトロールを行う。				
(4)成果目標		(1) 啓発事業の開催 (2) 測量等業務の実施による、あらたな文化財指定(登録)の推進				
(5)根拠法令等		・文化財保護法 ・沖縄県文化財保護条例 ・石垣市文化財保護条例				
【事業実績・目標】						
26年度実績		決算額	1,506 千円	25年度実績	決算額	893 千円
(1) 市民対象の啓発事業等 ・自然観察会 市民17名参加 ・戦跡めぐり 市民20名参加 ・文化財めぐり 市民20名参加 ・文化財防火デー 石垣市消防本部と連携し訓練を実施				(1) 市民対象の啓発事業等 ・自然観察会 市民24名参加 ・文化財防火デー 石垣市消防本部と連携し訓練を実施 ※ 定期的にパトロールを実施		
(2) 文化財指定・登録に伴う測量等(委託) ・フミダカーラ流域のトウファ指定範囲図測量業務 ・御神崎登録範囲確定(杭打ち)業務 ・御神崎周辺地における現況写真空撮業務 ・川平湾及び於茂登岳指定範囲図作成業務 ・宮良浜川原のヤラブ並木追加指定範囲図作成業務 ・御神崎登録範囲図上測量業務 ※ 定期的にパトロールを実施				27年度目標	予算額	1,344 千円
				(1) 市民対象の啓発事業等 ・自然観察会 ・戦跡めぐり ・文化財めぐり ・文化財防火デー (2) 文化財指定・登録に伴う測量等(委託) ※ 定期的にパトロールを実施		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない						
区分		評価の説明				
内部評価		【成果・課題等】 市民対象の自然観察会等を通して、あらゆる年齢層の方が、石垣市の自然・文化財に触れ、郷土の歴史や文化財への関心を深めることができた。また、文化財防火デーでの消火訓練は、周辺地域の方々への防火意識の高揚はもとより文化財保護啓発に役立っている。市内には、指定・登録すべき多くの文化財があり、本事業では、指定等に向けた基礎調査等を実施し、成果を上げている。また、文化財の管理・保護を目的としてパトロールも実施している。				
外部評価		すべての人々に本市に所在する文化財の理解や活用を図ることは、極めて重要である。啓発事業(自然観察会や文化財めぐり等)も良好で、あらたな文化財の推進や、管理・保護もきちんと実施されている。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	文化財課
事務事業名		史跡フルスト原遺跡保存修理事業			
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展【文化の継承・発展】			
	施策項目	(5) 史跡フルスト原遺跡保存整備事業			
【事業概要】					
(1) 対象		市民、観光客			
(2) 目的		国指定史跡フルスト原遺跡の整備を行い有効的な活用を図る。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		国庫補助金、沖縄県補助金を活用して調査・整備をする。			
(4) 成果目標		遺構確認調査、芝張工事、微地形測量、写真測量、資料整理、リーフレットの作成等を行い、広く市民、観光客へ公開する。			
(5) 根拠法令等		・文化財保護法 ・補助金に係る予算の執行適正化に関する法律			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	9,143 千円	25年度実績	決算額 9,113 千円
平成26年度は、遺構確認調査 60㎡、芝張工事 843㎡、微地形測量 1,070㎡、写真測量 24㎡、出土品の整理(洗浄等)、リーフレット100部の作成を実施した。		平成25年度は、遺構確認調査 87㎡、芝張工事 576㎡、微地形測量 2,500㎡、写真測量 15㎡、出土品の整理(洗浄・注記・復元等)、簡易看板等の設置を実施した。			
		27年度目標 予算額 9,083 千円			
		本年度は、遺構確認調査、芝張工事、微地形測量、写真測量、資料整理、リーフレットの作成等を行い、広く市民、観光客へ公開を図る。			
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 史跡フルスト原遺跡整備委員会の助言等を踏まえ、遺構確認調査、芝張工事、微地形測量、出土品の整理等を行っており、着実に整備が進められている。まだ整備途中であり安全面での課題はあるが、年間を通して観光客も訪れ、市内の小・中・高生による校外学習などでも利活用されている。また、作成したリーフレットを博物館等に置き、遺跡への周知に利用してもらっている。			
外部評価		フルスト原遺跡は大浜地区に存し独特というか個性的な文化を有し、郷土愛にもつながる文化財である。また、史跡フルスト原遺跡整備委員会も立ち上げ、リーフレット等を作成し着実に案内や整備が進められている。学校からの問い合わせもあるので連携して進めてほしい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	市史編集課	
事務事業名		市史編集事業				
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展【文化の継承・発展】				
	施策項目	(6)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供				
【事業概要】						
(1)対象		市民				
(2)目的		先人たちが築いてきた特色ある石垣市の歴史や自然・文化を市民共有のかけがえのない貴重な財産として後世に引継ぎ、歴史や自然・文化に根ざしたまちづくり、人づくりに資する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)		市史刊行物の編集・発刊				
(4)成果目標		「石垣市史叢書21」の発刊				
(5)根拠法令等		石垣市史編集委員会規則				
【事業実績・目標】						
26年度実績		決算額	1,698 千円	25年度実績	決算額	2,126 千円
『石垣市史叢書21 参遣状(喜舎場永珣旧蔵史料)1』の発刊 500部 ※平成24年に石垣市に寄贈された「喜舎場永珣関係史料」の一部を初めて紹介しており、その原本からの翻刻は初めてです。首里王府からの布達書である「参状」と八重山の蔵元からの報告・問い合わせなどの「遣状」から成り、王府の八重山統治をめぐる問題と、それに対応する八重山社会の状況を知る上では第一級の史料であるといわれています。特徴として、多くの史料が失われた「明和の大津波」以前のことが記されているということが挙げられます。				『石垣市史叢書20 球陽 八重山関係記事集(下巻)』の発刊 1,000部		
				27年度目標	予算額	2,514 千円
				『石垣市史叢書22 参遣状(喜舎場永珣旧蔵史料)2』の発刊 500部		
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない						
区分	評価の説明					
内部評価	【成果・課題等】 目標としていた『石垣市史叢書21 参遣状(喜舎場永珣旧蔵史料)1』の発刊が予定通り行えた。					
	○					
外部評価	「八重山社会の状況を知る上では第1級の史料、明和の大津波以前のことが記されているのが特徴」といわれている『石垣市史叢書21 参遣状(喜舎場永珣旧蔵史料)1』の発刊は大変な作業を経て各学校や関係機関への配布もしているので、その労を高く評価し、成果を広く周知してほしいと考える。					
	○					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	博物館
事務事業名		喜舎場永珣資料 史料調査事業			
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展【文化の継承・発展】			
	施策項目	(7)博物館事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象		市民			
(2)目的		平成24年に当館に寄贈された喜舎場永珣資料を調査し、資料目録の作成、資料のデジタル化、資料の保存対策を目的とする。事業終了後は、当館の博物館活動を通して、市民に広く公開するよう努める。			
(3)目的達成のための手段(事業内容)		○喜舎場永珣資料調査会の設置、調査会の開催 ○資料調査員による資料調査 ○資料の保存対策及びデジタル化 ○当館職員による資料調査			
(4)成果目標		喜舎場永珣資料の目録作成と保存対策及びデジタル化を行う。			
(5)根拠法令等		・博物館法 ・石垣市立八重山博物館設置条例 ・補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律			
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	2,964 千円	25年度実績	決算額 0 千円
○資料のデジタル化及び保存対策 音声資料(Sプレコード、オープンテープ)録音委託、辞令書等スキャニング委託、写真資料スキャニング委託、地図等スキャニング委託、古文書資料等の保存対策 ○喜舎場永珣資料調査会 喜舎場永珣資料調査会設置、調査会3回開催。調査員による資料調査。					
		27年度目標	予算額	2,771 千円	
		○喜舎場永珣資料調査会の開催と調査員による資料調査(継続) ○当館職員による資料調査(継続)			
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 八重山学の先駆者である、郷土史家、喜舎場永珣の資料 史料調査事業である。その資料群が5,455点にのぼり膨大である。修復、保存対策は必須であり、事業完了後は広く市民に展示活用することが必要と考える。調査業務が短期間でできるものではない。また、文化庁の補助を受けての調査事業となっている。よって、継続事業として、事業完了まで進め本市の文化資料の保存に資していきたい。			
外部評価		貴重な文化遺産の整理や修復事業は目に見えないだけに大変な作業だが、その膨大な資料をよく整理している。喜舎場永珣資料調査会も機能されており、継続事業として完成まで着実に取り組んでほしい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】				
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)	主管課	博物館
事務事業名		こども博物館教室		
施策 体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展【文化の継承・発展】		
	施策項目	(7)博物館事業の充実		
【事業概要】				
(1)対象		市内小学5年生		
(2)目的		郷土(石垣市)の歴史・文化・自然を学び、郷土に対する誇りと愛情を高める。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)		年間9回の講座を実施。受講生はすべての講座を受講する。①自然観察 ②文化財・史跡めぐり ③八重山の年中行事 ④气象台見学 ⑤植物観察 ⑥篆刻教室 ⑦焼物教室 ⑧野鳥観察 ⑨和紙作り		
(4)成果目標		受講生数40名		
(5)根拠法令等		・博物館法 ・石垣市立八重山博物館設置条例		
【事業実績・目標】				
26年度実績		決算額	562 千円	25年度実績
25年度実績		決算額	481 千円	
○受講生45名(市内10校)。定員を上回る応募があったが、会場スペースの制約もあり45名まで受け付けた。 ○開講式(5/10)、①自然観察(5/17)、②文化財・史跡めぐり(6/7)、③八重山の年中行事(7/5)、④气象台見学(8/22)、⑤植物観察(9/6)、⑥野鳥観察(12/13)、⑦篆刻教室(1/17)、⑧焼物教室(1/24)、⑨和紙作り(2/7・8)、修了式(3/7) ○「こども博物館だより」(1～14号)の発行 ○『こども博物館教室記録集』(32期生)の刊行 ○1年間の活動を写真や制作物(篆刻印影・焼物・和紙)で紹介する「ロビー展」を開催		○受講生44名 ○年間9回の講座を実施 ○「こども博物館だより」の発行 ○『こども博物館教室記録集』(31期生)の刊行		
27年度目標		予算額	648 千円	
○受講生45名 ○年間9回の講座を実施 ○「こども博物館だより」の発行 ○『こども博物館教室記録集』(33期生)の刊行 ○「ロビー展」の開催				
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70～100%未満) ×:うまくいっていない				
区分		評価の説明		
内部評価		【成果・課題等】 今年度で33回目の「こども博物館教室」事業である。年9回の講座を実施している。郷土の自然、歴史、文化について理解を深め郷土に対する誇りと愛着を高めることが事業の目的である。定員を上回る応募があって博物館の目玉事業となっている。 ○ 次代を担う児童に本市の多くの文化を知り得ることが肝要であり、継続的に事業を展開して行きたい。		
外部評価		八重山博物館の目玉事業としてのこども博物館教室は内容の充実を図りながら33回目を迎えた。今や市民権を得てその期待も大きくぜひ継続してほしい。ふるさと学習の一環として根づいてほしいと考える。		
		○		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	総務課		
事務事業名		スクールバス管理費					
施策 体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実【教育行政の充実】					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業概要】							
(1) 対象		伊原間中学校生徒					
(2) 目的		伊原間中学校に通う生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。					
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		伊原間中学校にスクールバス2台を配備し、登下校の送迎を行う。運転手は伊原間中学校校長より推薦のあった者と委託契約している。					
(4) 成果目標		スクールバス2台の安全運行					
(5) 根拠法令等		へき地教育振興法					
【事業実績・目標】							
26年度実績		決算額	5,883 千円	25年度実績	決算額	5,734 千円	
スクールバス2台を安全に運行				スクールバス2台の安全運行			
				27年度目標		予算額	6,024 千円
				スクールバス2台の安全運行			
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない							
区分		評 価 の 説 明					
内部評価		【成果・課題等】 スクールバスの運行により、児童生徒の通学の安全確保はもちろん、子供の送迎という保護者の負担が軽減されている。委託契約を締結している運転手2名についても、スクールバス運行業務を5年以上勤めており、職員、生徒、地域住民からの信頼も厚い。 問題点としては、スクールバスが2台とも購入から13年以上経過しており、故障も多く、買い替えの時期にきている。購入費の予算確保が課題である。					
外部評価		伊原間中学校は北部地区の拠点校であり、小規模を特色として生かした教育の展開があり効果をあげている。送迎はむろん子どもたちの安全確保を第一としているが、現在のスクールバスが購入から13年以上経過していることを考慮し予算確保に努めていただきたい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課	学務課
事務事業名		学校(園舎)維持補修事業			
施策 体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実【教育行政の充実】			
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実			
【事業概要】					
(1) 対象		市立幼小中学校施設			
(2) 目的		施設の小規模な修繕等を要する園舎、校舎、屋内運動場や工作物等の整備を行い、安全・安心で良好な教育・保育環境を確保する。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		一般財源により小規模でかつ緊急性を伴う修繕等について、迅速に対応し、園児、児童生徒の安全を図る。			
(4) 成果目標		日常的に必要な修繕等を迅速に対応することにより、安全・安心で円滑な学校経営が図られるよう、学校現場と連携を密にしながら施設の整備を図る。			
(5) 根拠法令等					
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	5,771 千円	25年度実績	決算額 5,898 千円
- 放送機器修繕 - 遊具等修繕 - トイレ設備修繕 - 排水管修繕 - アンテナ修理 - 網戸取替 - ガラス取替 - プール設備修繕 - 通信設備取替		- 照明ランプ取替 - 外灯漏電修繕 - 門扉修繕 - 小便器フラッシュバルブ修繕 - ガラス取替 - 冷房機修理			
		27年度目標 予算額 5,553 千円			
		- 照明機器取替 - 外灯漏電修繕 - 漏水、漏電修繕 - ガラス取替 - 冷房機修理等			
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 学校現場からの依頼に対し優先順位をつけ対応しているが、予算規模から十分な対応が出来ていない。建物の経年劣化による漏水、漏電、消防設備の改修等についても予算が追いつかない状況となっており、今後とも予算確保が課題となっている。維持管理に関する費用は国庫補助がなく一般財源である。厳しい財政事情もあるが、園児、児童生徒の安全確保のため引き続き予算確保に努めなければならない。			
外部評価		まず、「維持管理に関する費用は国庫補助がなく一般財源である」ということに驚愕した。歳月が経てば補習・修理も当然嵩張る。子どもたちの安心安全及び教育の効果性のためにも予算の増額をぜひお願いしたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度		平成27年度(平成26年度事業)		主管課 学務課	
事務事業名		教育・保育環境整備事業			
施策 体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実【教育行政の充実】			
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実			
【事業概要】					
(1) 対象		市立幼小中学校施設			
(2) 目的		施設の老朽化、経年劣化等により修繕又は改修を要する園舎、校舎、屋内運動場他、工作物等学習環境に関する設備について整備し、安全・安心で良好な教育・保育環境を確保する。			
(3) 目的達成のための手段(事業内容)		一般財源等により一定規模の修繕又は改修工事について、請負契約により学習環境を整備する。			
(4) 成果目標		市立幼小中学校に必要な修繕、改修工事を緊急性、安全性等を考慮し積極的に推進し、園児、児童生徒及び職員が、安全で、安心して学習できる良好な環境を確保する。現場と連携を密にし、安全点検指摘事項を是正する。水道料金削減のための漏水調査・修繕を進める。また、扇風機改修、空調機の導入等、暑さ対策への改修を行う。			
(5) 根拠法令等					
【事業実績・目標】					
26年度実績		決算額	35,590 千円	25年度実績	
				決算額	38,693 千円
・日よけ設置工事 ・給水管修繕工事 ・空調機設置工事 ・危険樹木倒壊防止工事 ・公立小中学校空調設備改修工事 ・通信設備(電話機)等修繕		・扇風機取替工事 ・照明器具取替 ・遊具等修繕 ・ネットフェンス修繕 ・漏水、漏電修繕			
		27年度目標 予算額 27,516 千円 ・照明器具取替 ・滑り台修繕 ・コンセント修繕 ・漏水改修工事			
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない					
区分		評価の説明			
内部評価		【成果・課題等】 修繕等が必要な建物や設備等について、予算規模から全ての幼小中に十分な対応が出来ていない。建物の老朽化等による漏水、漏電、消防設備の改修等についても予算が追いつかない状況となっており、今後とも予算確保が課題となっている。一定規模以上の改修等以外に関する費用は国庫補助がなく一般財源である。厳しい財政事情もあるが、園児、児童生徒の安全確保のため引き続き予算確保に努めなければならない。			
外部評価		厳しい財政事情の中での教育・保育環境整備事業には更なる厳しいものがある。建物の老朽化やメンテナンス等緊迫した課題も多々あるので、学校現場では安全点検(月1回)も実施しているので現場と連携を密にし環境づくりに取り組まれたい。予算の増額をお願いしたい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成27年度(平成26年度事業)	主管課	学務課
事務事業名	明石小学校屋内運動場新增改築事業		
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実【教育行政の充実】	
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実	
【事業概要】			
(1) 対象	明石小学校屋内運動場		
(2) 目的	昭和56年以前に建築された旧耐震基準の屋内運動場について、耐力度調査により危険建物と判断されたため改築する。耐震化を図り、安全・安心な学校施設を確保する。		
(3) 目的達成のための手段(事業内容)	文部科学省の補助事業を活用し、体育館(874㎡)と椅子、机等の備品や周辺の整備を併せて行う。		
(4) 成果目標	安全・安心で学級数に応じた適正規模の屋体を整備することにより児童の体力はもとより、競技力の向上・クラブ活動の推進等学習指導上の効果を高めることができる。また、福祉のまちづくりの観点からバリアフリー化を図り、地域の活動拠点としての機能の改善を図る。		
(5) 根拠法令等	義務教育諸学校の施設費の国庫負担等に関する法律		
【事業実績・目標】			
26年度実績	決算額	118,953 千円	25年度実績
			決算額
			2,787 千円
計画通り執行を進めてきたところ、社会情勢の変化(建築資材、人件費の高騰、人材不足等と推測)により、建築工事が入札不調となった。建築工事契約締結に不測の時間を要し、年度内完成が困難となったことから翌年度へ繰越した。当該年度は建築工事、電気・機械設備工事を契約し、事業を進めているところである。		事業の早期採択を図るため、事業認可申請予定の前年度に実施設計を着手した。明石地区で事業説明会を開催し、地域、保護者、学校の意見を実施設計への参考とした。	
		27年度目標	予算額
			202,446 千円
		入札不調が原因となり供用開始予定が遅れている。屋内運動場本体工事については9月末に完了し、10月より供用開始予定である。	
【点検評価】 評価凡例 ○:計画通り △:ほぼ計画通り(70~100%未満) ×:うまくいっていない			
区分	評 価 の 説 明		
内部評価	【成果・課題等】 耐震化により安全・安心な学校施設の確保、良好な学習環境への改善が図られる。またバリアフリー化により、地域活動拠点施設としての機能向上が図られる。入札不調等の理由により当初供用開始予定より遅れることとなったが、平成27年度内完了を見込んでおり、計画はほぼ達成できる予定である。		
	△		
外部評価	適正規模の屋体を整備することはすべての活動の効率化を図ることができる。端的に入札不調等の原因を問うならば災害後の社会情勢の変化によるものだとのこと。近々完成予定なので授業の一環として児童や職員が参加(見学)できる場面があってもいいのではないかなと思う。		
	○		

外部評価委員による総評

○ 金城 綾子

昨今の新聞の見出しには「九州地区野球大会歴史に残る初勝利」「マーチング全国大会出場決める」「全国障がい者スポーツ大会で頂点」「学校新聞コンクール入賞」等々、子どもたちの快挙を報ずるものばかりで実に頼もしい限りである。

いうまでもなく、子どもたちの活躍は学校に活気をもたらし、地域に活力を与える。あまつさえ、未来を担う子どもたちのために大人たちは何ができるのか、社会の中で考えてあげるプラス志向の雰囲気ができあがる。もしかしたら、そんな雰囲気づくりの支援や土台づくりの醸成が教育委員会の任務ではなかろうかと考える。

今年も丁寧な物腰と温かい待遇を受けて外部評価委員の仕事をさせていただいた。今年度は評価対象抽出事業として22事業（新設事業2）に対してのヒアリングを実施した。各課長・館長・所長さん方は、仕事に対しての責任と熱意が感じられ、質問にもテキパキと答えられ、リーダーとしての役割をキチンと果たされていた。

今年度特筆されることは、「頑張りのあとが見受けられるがなぜなのか」という問いに対して、「ハイ、それはスタッフがアイディアを出したり、労を惜しまず頑張ってくれたから」と、自分の部所での仕事に誇りをもってスタッフを称えたリーダーの答えが未だ私の脳裏に残っている。教育長も部長も同様に「うちの職員は良く働く」とおっしゃる。これが、この姿こそがあって、昨今の子どもたちの活躍につながったかも知れないと、教育委員会の底力や縁の下の力持ち的存在を実感した。それに、外部評価委員としては、前年度指摘したことはどうなったのか気になるところだが、各課持ち帰って更に検討し、修正や補強されて行動に移したという姿勢は高く評価したい。

ただ更なる向上のために言わせてもらうならば、教育委員会の管轄は仕事内容面においても広範囲にわたっていて、その上、博物館・図書館・文館・給食センター等の場所は点在し距離的にも隔たりがあるので、今後はその隔たりを繋ぎに変えるために緻密な連携や連動が必要となろう。学校教育と社会教育の融合、仕事内容や距離感を網羅した一体感のある体制づくりの構築にも目を向けて頂きたい。

一つ一つの事業には予算が伴う。〈人材を以て資源となす〉といわれているように、人材と関わる教育委員会の仕事はある意味においてはやりがいのある仕事だと言えよう。

人の一生に関わる支援をはじめとし、その多種多様にわたる仕事内容は未来の石垣市の方向づけや躍進に繋がる。石教委への予算増額は魅力的な石教委づくりに繋がる。

7年前私は、『一人一人が輝いて学校が輝く』と教育現場で燃えていた。現在は、『花が咲き子等が笑う私たちの石垣市』として、よりよい生活環境づくりのために婦人会で花を育てたり、石交母で交通安全の支援をしている。人の教育への営みは一生涯続く。

○ 徳山 長壯

本市の多岐にわたる教育行政を担う石垣市教育事務点検評価外部評価委員の委嘱を受け、身の引き締まる思いである。

早速、担当各課よりヒアリングを受け、各々自信と誇りを持って事業推進にあたっていることが伺え高く評価したい。

今年度の 22 件のヒアリングにおける評価は、○は計画通り、△はほぼ計画通り、×はうまくいっていないの三通りで表し、外部評価の説明は委員 2 人で協議し、事務事業点検評価シートの評価の説明欄に記載した。

いきいき学び課が青年、成人、婦人、高齢者学級を開設し地区、地域社会における市民の学びの場として活動の場を広げたことで、地域の活性化に繋がっている。今後も市民ニーズに沿った事業として、より多くの地域で取り組んでいただきたい。

また、「子ども博物館教室」事業も、希望する多くの子が受講できるような工夫をし、古里を見つめ郷土に誇りと愛情を持ち、生き生きと活動できる学習の場を継続的に実施していただきたい。

学校（園舎）維持補修事業は学校現場と連携を密にして園児、児童生徒、職員が安全で安心して取り組める教育環境の確保に努めて欲しい。日々成長していく子ども達の教育環境は、安全・安心が第一である。財政面で苦慮しているようだが予算確保を強力に進めていただきたい。

一括交付金を利用して行なわれている事業もあり、優先順位を決め予算面で適正に執行していただきたい。

「創造性、国際性に富む人材の育成と生涯学習の推進」を図る教育委員会の仕事は、膨大で責任を伴う事業であることを確認し、外部評価委員として一市民の目で微力ながら係われたことを嬉しく思う。



○石垣市教育事務点検評価実施要綱(平成21年1月30日教育委員会告示第1号)

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第2条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成15年石垣市教育委員会告示第10号)第5条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第3条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第4条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第5条 教育事務点検評価は、第3条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第6条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

○ 石垣市教育委員会組織機構図

※()は臨任、嘱託、賃金を除くH27. 4. 1現在の市費職員数



平成 27 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(平成 26 年度事業対象)

発行 平成 27 年 11 月
石垣市教育委員会 総務課
〒907-0012 石垣市美崎町 1 6 - 6
TEL 0980 (87) 5077 FAX 0980 (82) 0294
